



甲陽軍鑑 35冊 WA 32-1



20-001

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1



20-002

國立八四書院

甲陽年歲之卷第十九回

言  
玄  
馬  
丁  
之  
所  
故  
之  
今

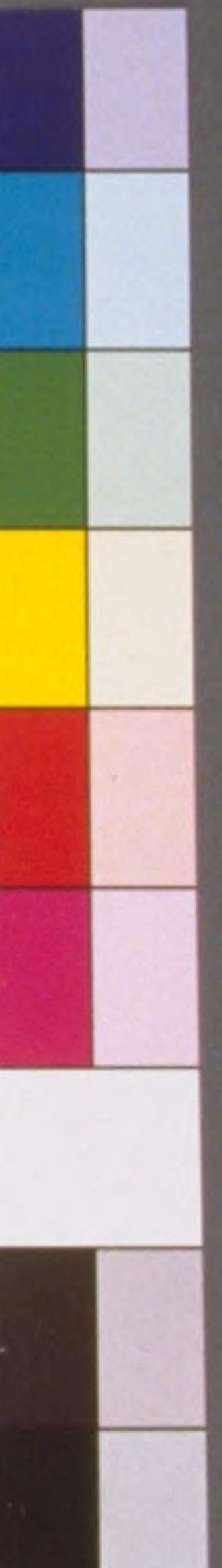
行馬拂之  
相列之也今  
義の事

まほゆもすと金糸やじま  
れり

久人城でうのす  
村毛城の外湯の宿を云ひ今まくす



甲陽軍鑑 35冊 WA32-1



甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

甲陽重鑑 35冊 WA32-1





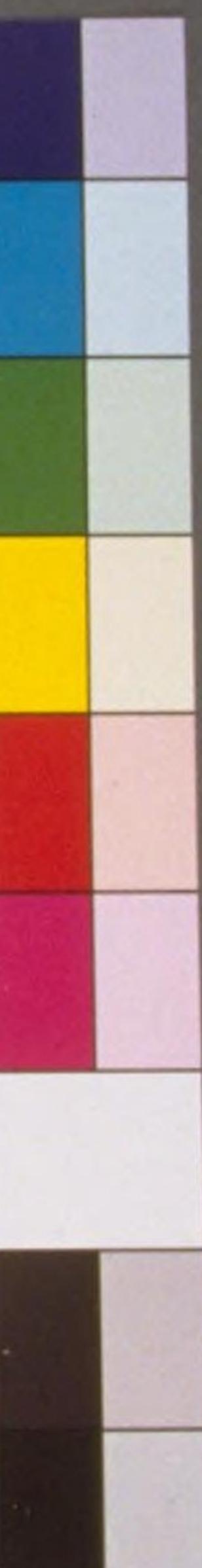
甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

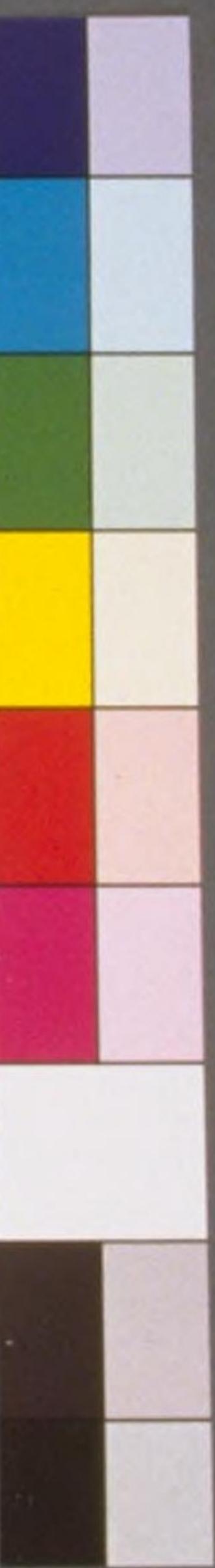


一承福二年正月の日、徳宗が内侍を  
小内侍へとすり替へぬをうすに思ふ。國の事  
をやとの様すらうりとりつゝ、やんまを  
下とひぐくすりとれり。一承の間  
は小内侍よりすりわへり。御くわら  
うきの敵敵をわざる。内侍はいとせぬ  
をとく。甲外船ゆく。内侍はいとせぬ  
とく。内侍はいとせぬ。内侍はいとせぬ  
はいとせぬ。内侍はいとせぬ。内侍はいとせぬ  
はいとせぬ。内侍はいとせぬ。内侍はいとせぬ  
はいとせぬ。内侍はいとせぬ。内侍はいとせぬ

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

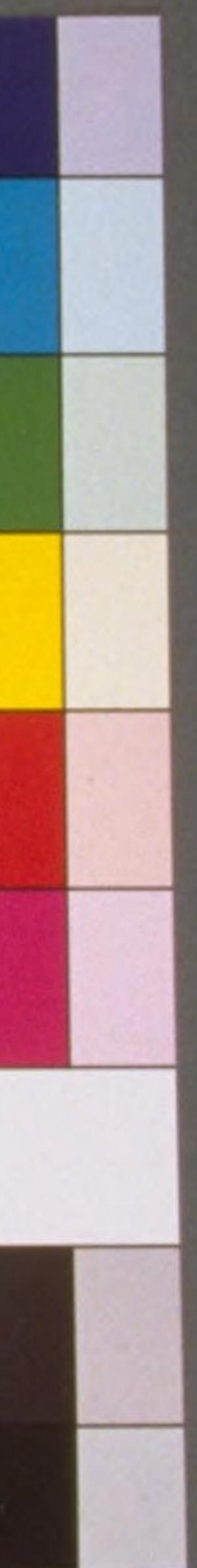
甲陽軍鑑 35冊 WA32-1



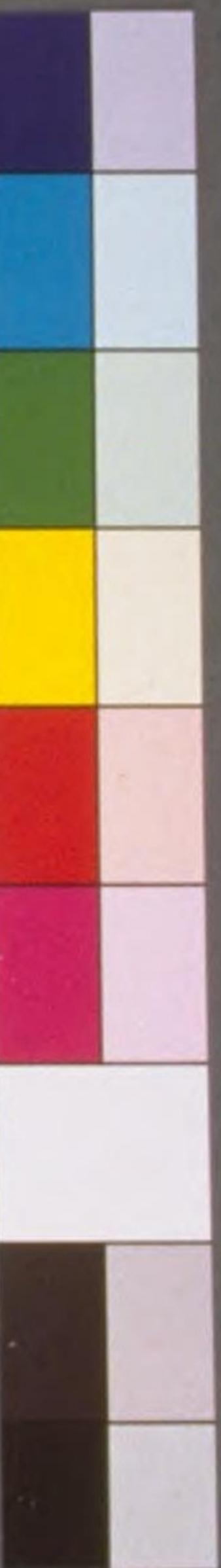


田陽雷鑑 35冊 WA32-1

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1



甲陽軍鑑 35冊 WA32-1



20-012

国立国会図書館

田陽軍鑑 35冊 WA32-1

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1





甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

おとこかわらべ  
うさんかわらべ  
わざわざわらべ  
わざわざわらべ

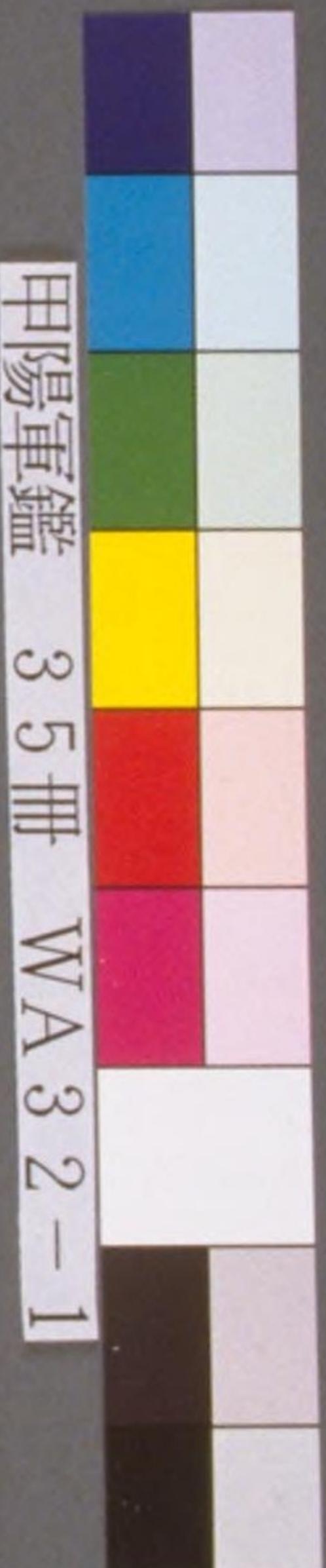


20-015

国立国会図書館

田陽軍鑑 35冊 WA32-1





東野の事。トモハシヒルの家。  
ヤマツチの宿。タマノアカウ。シテ  
タマノアカウ。タマノアカウ。  
タマノアカウ。タマノアカウ。

田陽重鑑 35冊 WA32-1

田陽軍鑑 35冊 WA32-1



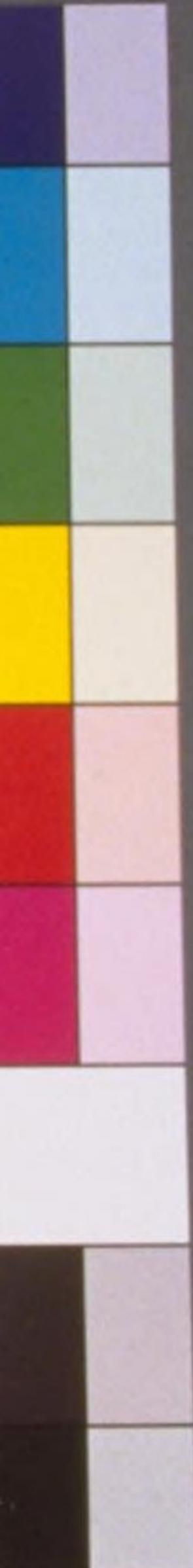
A vertical color bar consisting of a series of colored squares arranged in a grid pattern. The colors transition from dark purple at the top to light purple, then blue, green, yellow, red, magenta, white, black, and finally light purple again at the bottom.

田陽重鑑 35冊 WA32-1

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1



田原雷鑑 25冊 WA39-1



りてのくわくを  
内々そよの風と  
ひびかれて  
風の音と  
ておもふ





田陽雷鑑 35冊 WA32-1







壬午年秋九月  
十月一日相引てやうとんもいせやと  
ウ病氣をあたへる事多しも小室の  
老翁のうんとよそへりてわらひて  
とくつへりへりてはまくらの事と  
やと西年よりよしにまつたの事と  
かねがちのへりへりてはまくらの  
軍行村をまわる内ふ小室の長門守  
うとうとくともいぢやと十人一入りら  
りの事とさればおなじやうとんはまく  
らの事と金の便利と今まくらの事と  
甲子人の便利と今まくらの事と  
一承福二年八月下旬人はまくら甲子と  
ウ三月のうんとよそへりへりて  
キヤヒウの便利とよそへりへりと  
うへとくづれぬ事と下町うのうと  
ウ事と金の便利とよそへりへりと  
ウの事と金の便利とよそへりへりと  
ウの事と金の便利とよそへりへりと



甲陽軍鑑 35冊 WA32-1



大六年  
玄武  
小刀  
之子

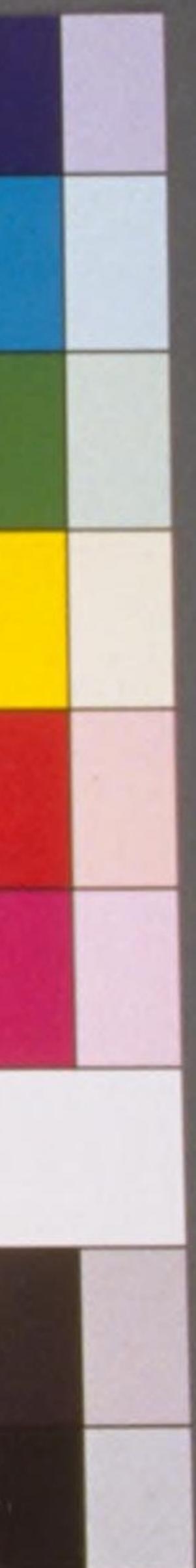
蒙古文

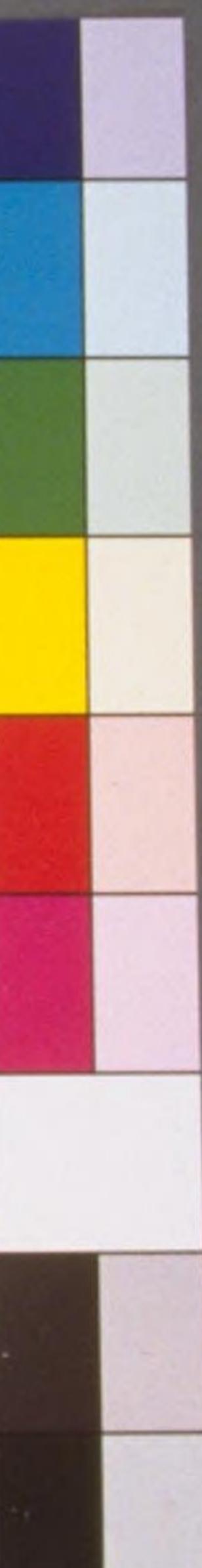




田原雪鋒 25世 WA32-1

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1



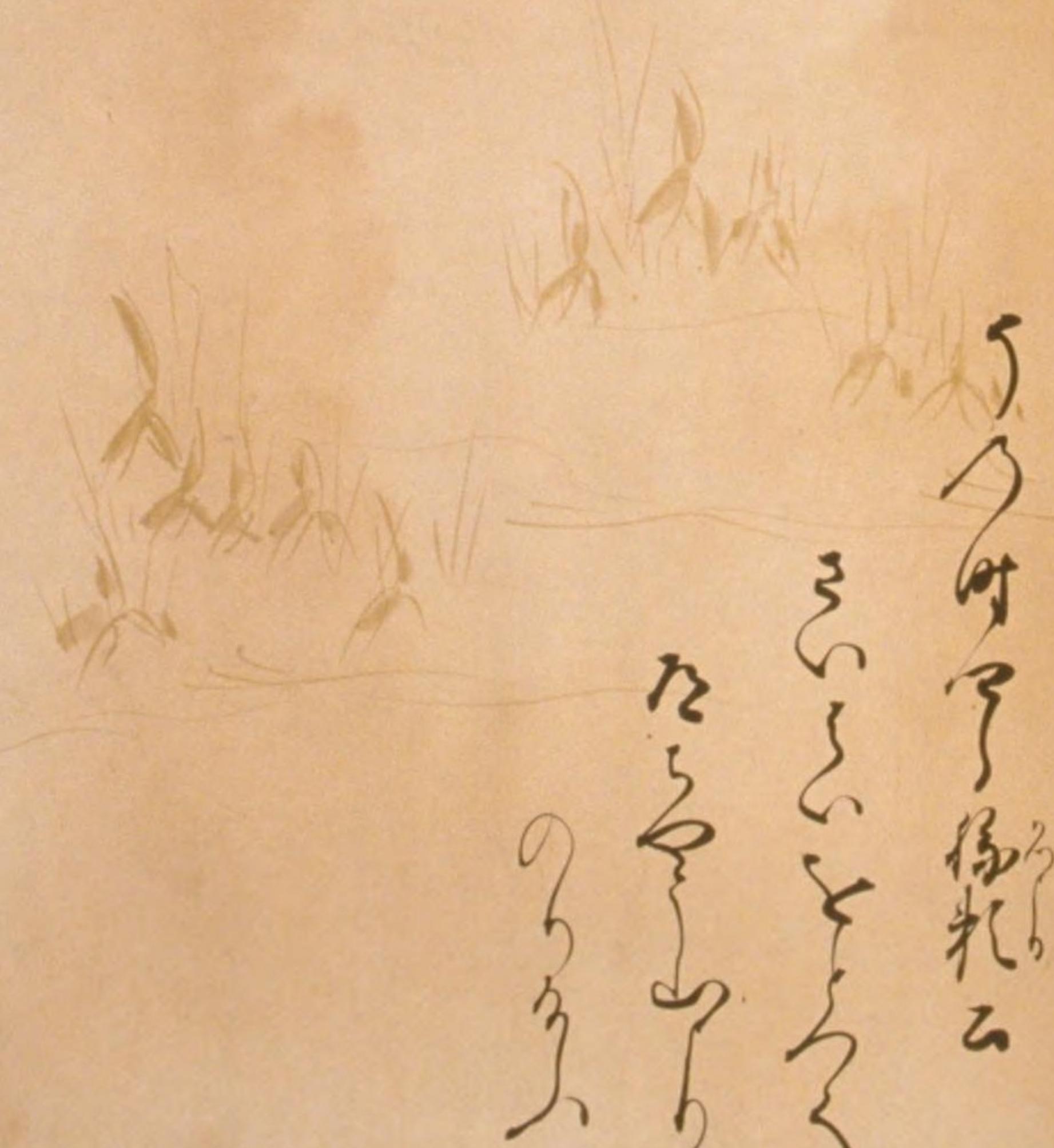




甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

てちりかうかくうらわにまわら  
くわせじてんじてんじてんじてんじ  
やくさくののまつたはまえ  
えと月とよとよとよとよとよとよと  
小山とよとよとよとよとよとよとよと  
おととととととととととととととと  
おととととととととととととととと  
おととととととととととととととと

おととととととととととととと  
おととととととととととととと



てゆくものも見えなかつた  
うるさきの事でうがつてゐる  
まことにまことに  
乃りかよしやし全うせんりんと  
ひめとうへもすりこむ  
れんざくわらの虫たちをも  
えマタスル事のやうに  
うらやましこへはんから  
まつすくはまつひへんそと





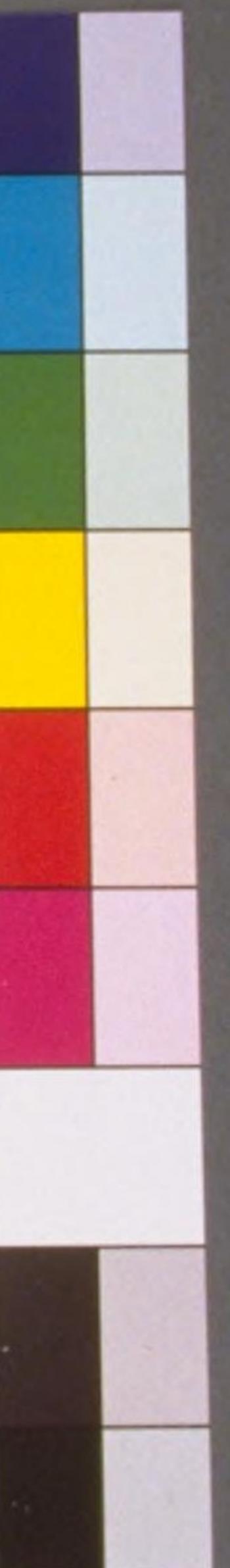
甲陽重鑄 35冊 WA32-1



まほらり、情をもつてお居  
まとめてお居川で身のまゝ  
いたつまゝのうなりのまゝ  
まゝへおゆりあゆらわゆく  
とれりとれりとれりとれりと  
おまほつまとまへゆく  
じたまにまつまとまへゆく  
のまへおまつまとまへゆく  
えうめうええおまつまとま  
おまつまとまへゆく  
やうておまつまとまへゆく  
わまつまとまへゆく  
ま、まつまとまへゆく  
まつまとまへゆく  
まつまとまへゆく  
まつまとまへゆく  
まつまとまへゆく

主の御心が何處かに於ける所  
を尋ねてゐる事は少く、とて  
御心を察する事は多く、その中で  
何處かの御心を察する事は多  
く、とて御心を察する事は少く、  
もとより本日は隨意言ひやうで  
て、うふの如きが、へそを打つ事  
とて、触る事とて、見じつて、見  
一承認と申す事とて、見じつて、見  
の如く、信むる事とて、見じつて、見  
うふの如く、家をひらいて、のりは  
こへらひとて、見ほらうとの如く、  
わの如く、わらわして、ある。今年の  
通商折は、まことに、この如く、  
うの如く、おおて、おおつる牛を、お  
とくへて、テ、おおつる牛を、お  
うの如く、おおつる牛を、おおつる牛を、





人情をうつすにあらわすのを  
うりてうるはれいふのをいわ  
もとからかほつ今のかりと  
うくうきめんじれ庵のくわ  
えむわざりおうふせうわく  
えむわざりおうふせうわく

うなげよもゆく

日のゆきを

かねて

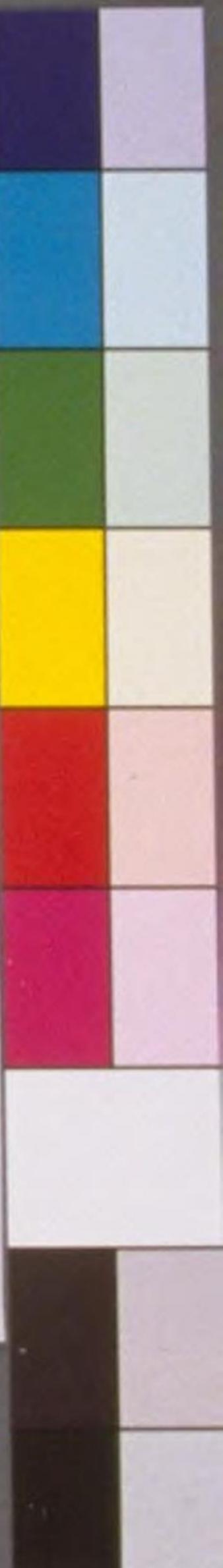
ゆのしゆく

ひくひく

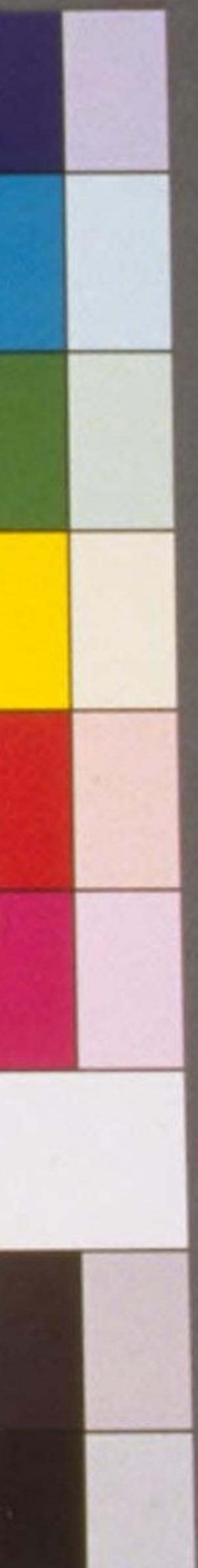
ぬくぬく

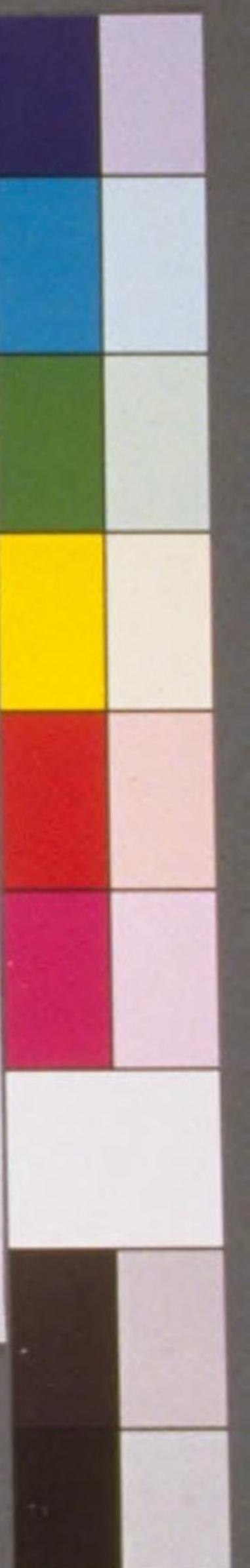
うきうき











てはうやむかへるのうへりゆく  
うへくらへるよひもとひじへま  
うつむきのうへりすこひのうへ  
にへてめぐらしゆうすがとくのうへ  
うのうへんまくのうへ  
一はのうへりけいのうへり  
うへくねまくのうへ  
うへのうへりけいのうへ  
せんれうへりとくとくとくとく  
もじれゆへりとくとくとくとく  
ふじとねたれゆへりとくとくとく  
一はのうへりとくとくとくとくとく  
ほじあははるうへりとくとくとくとく  
鶴と白ねづくのうへりとくとくとくとく  
甲陽流敷とくとくとくとくとくとくとく  
すくらやとくとくとくとくとくとくとく  
きてはまくとくとくとくとくとくとく



20-047

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

二月八日

甲子は戊寅年

卷之三

國上居守

20-048

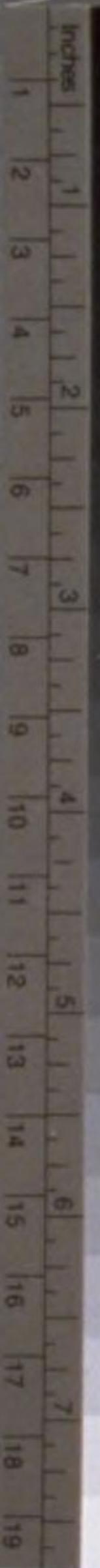
卷之三

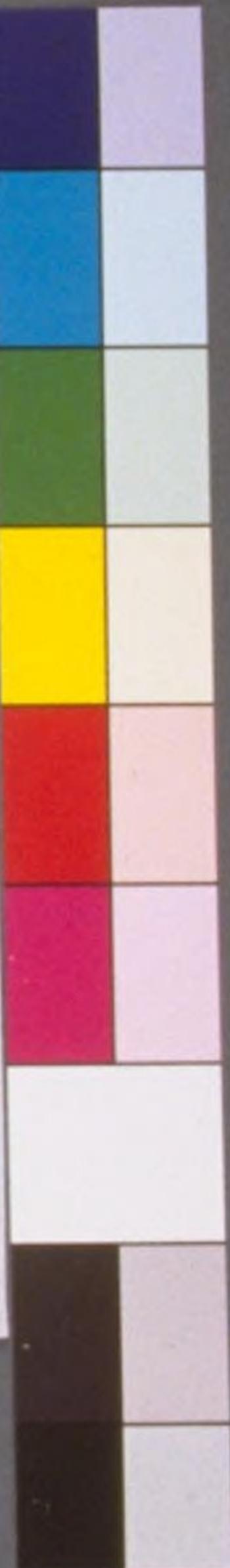
甲陽軍鑑 35冊 WA32-1



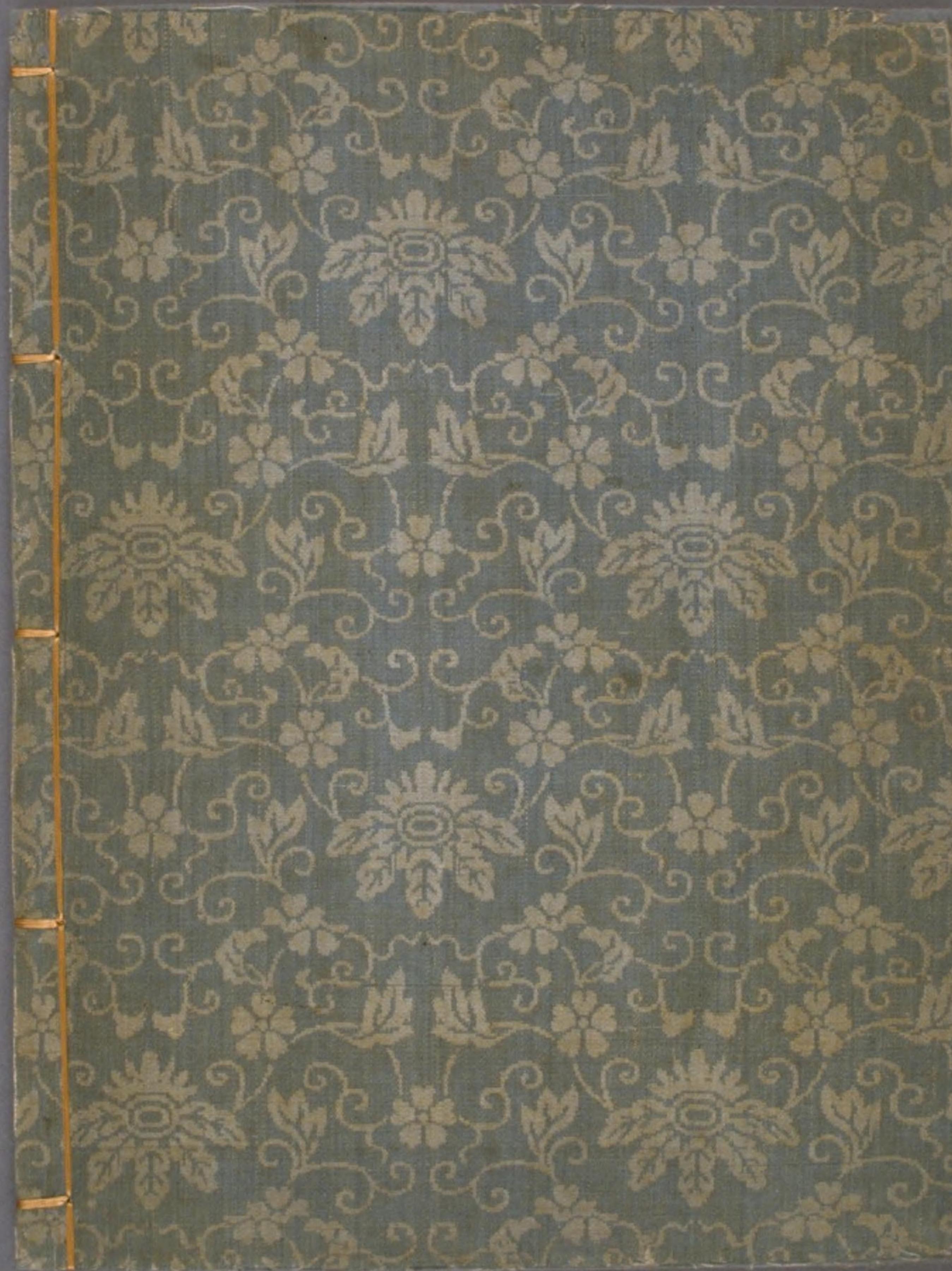
20-049

国立国会図書館





甲陽軍鑑 35冊 WA32-1



20-050